

生薬の滋養強壮剤

松寿仙

第3類医薬品

『松寿仙の特長』

私たちの体には、本来、生体機能のバランスを保ち、いつも健康を維持しようとする働きがあります。これを自然治癒力あるいは恒常性維持能力といいます。そして、この働きを賦活して健康を保持することを滋養強壮といいます。

松寿仙は、自然の原料であるクマザサ葉・赤松葉・朝鮮人参から抽出した有効成分により虚弱体質、胃腸虚弱の方及び病中病後、食欲不振、肉体疲労の時に優れた効果をあらわす滋養強壮保健薬です。



■ 相談すること



使用上の注意

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - 薬などによりアレルギー症状を起したことがある人。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるため、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ

- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

効能・効果

次の場合の滋養強壮：虚弱体質、肉体疲労、病中病後、胃腸虚弱、食欲不振

用法・用量

次の量を添付の計量コップではかり、食間又は食前に温湯又は水に希釈して服用してください。（食間とは、食後2～3時間を指します。）

年 齢	1回量	1日服用回数
大 人	2 ml	3 回
15才未満～8才迄	1 ml	

用法・用量に関連する注意

- 定められた用法・用量をお守りください。
- 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成分・分量

成 分 (6ml中)	分 量 (6ml中)
ニンジンエキス（原生薬としてニンジン58mg）	10.8 mg
クマザサ葉葉緑素液（原生薬としてクマザサ葉19g）	4.8 ml
赤松葉エキス（原生薬として赤松葉232mg）	18.0 mg

添加物としてパラベンを含有します。

〔注 意〕

本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがありますが、効果に変わりありません。保管及び取り扱い上の注意については、裏面をご覧ください。

保管及び取り扱上の注意

- (1) 開栓後の取り扱い方により変質することがありますので、開栓後のお取り扱いについては、注意事項を厳重にお守りください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (4) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (5) 開栓後は、樹脂キャップをしっかりと閉めて冷蔵庫に保管してください。
- (6) 開栓時及び服用時には、分注器に直接手指を触れないでください。(手指からの汚染により、品質が変わることがあります。)
- (7) 開栓及び樹脂リングの切り離しをする際には、指を傷つけないように注意をしてください。
- (8) 開栓後、樹脂キャップの栓がきちんと閉められていないままに、樹脂キャップを持って瓶を携行したり、横倒しにしたりしておくと、液が漏れることがあります。
- (9) 生薬エキス製剤ですので、アミノ酸等の成分が瓶の内面に付着したり、底部に沈殿することがありますが、その場合は、振ってから服用くだされば薬効には変わりありません。

【容器の使い方】

- ◎最初に「キャップシール」をはずしてください。
開栓時、「キャップシール」が付いていないものは服用しないでください。
- ◎開栓は樹脂キャップを強く左へ廻してください。樹脂リングはタブ(割れ目部分)を手指等でつまみ横に引いて離脱してください。
- ◎分注する場合は下記図の通りです。



最初に「キャップシール」をはずしてください。



樹脂キャップを矢印(左)の方向に強く廻して開けてください。開栓しますと分注器が装着してあります。



樹脂リングはタブを指先等でつまみ矢印(左)の方向に引いて外してください。



計量コップにて松寿仙をはかりとり、別のコップ等に入れて温湯又は水にて希釈して服用してください。



使用後は必ずキャップをしっかりとしめてください。

お問合わせ先

本剤について何かお気づきの点がございましたら、お買い求めの薬局・薬店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

株式会社和漢薬研究所 お客様相談室
0120-432-894 (フリーダイヤル)
[月～金曜日/10:00～17:00まで(祝祭日を除く)]

製造販売元：株式会社 **和漢薬研究所**

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山1193

発売元：**カポニー産業株式会社**

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8 (日本公衆衛生協会ビル)